

甲斐駒ヶ岳

2011年7月23～25日
リーダー:豊島 泰



◆ 飯綱山山頂にて▲

反省!甲斐駒・仙丈 欲張り山行記 リーダー:豊島 泰

【交通】

武蔵野線から中央線の「西国分寺」乗換えは注意!
結構な人数(奥多摩ハイカーなど)が乗り換えるため時間がかかります。今回はザックも大きく遠慮して後から中央線ホームに降りると停車中の各駅車両が出て行った後だった。次を待っていると、なんと立川から乗車予定の「あずさ」が目の前を無常にも通り過ぎて行ったのでした。

【テントライフ】

今回はバス停(北沢峠)から10分でテント場という事で饗庭さんと二人テント泊とさせていただきます。

土用の丑の日(1日遅れ)にしゃれこみ「鰻の蒲焼」を携行して食したり、差し入れワインにベーコン・玉葱・ソーセージを焼いたりそれなりに楽しみました。しかし、いかんせん普段炊事慣れしていない人間では、3日を通しての食糧計画の作成・食材選択・効率的な調理など日々の訓練が大切と痛感しました。

(遊友でキャンプ生活入門というのも面白かもしれません)

【登山】

登攀的な要素の強い山登りはやはり面白い。甲斐駒登頂にあたり迷わず直登ルートを選択させていただきました。

手足4本を使って岩を這い登るのは、何時もの遊友スタイルと異



なり新鮮な山登り体験だったのでは・・・?と自負してます。ところが慢心のリーダーに天罰か?登頂後の下山で膝をひねって、翌日の仙丈岳は途中で断念せざるを得ませんでした。仙丈岳は来年の課題とさせていただきます。

以上、「甲斐駒・仙丈よばり山行」反省文でした。

甲斐駒ヶ岳山行記

1日目: 南栗登6:10 1本前の電車に間に合ったが計画表通りの電車に乗る。東武公で乗り換え各駅に乗ってしまいあわてて豊島さんにメール。新越で待ってもらい皆さんに陳謝。どうも本日の時刻表は熱中症の為、変…JRも遅れ気味。西国分寺では乗るべき電車が目の前を通過…何となくいやな予感…

やっと乗った特急あずさは立ちっぱなし…皆さんに申し訳ないことをしました。ごめんなさい。

甲府からバスで約2時間、さらに北沢峠まで30分。つい20日前北岳に来たばかり。広河原で北岳を見て無事に登れた御礼を心の中で呟いた。「元気を貰ってありがとう。そして甲斐駒も仙丈も無事登れますように…」

2日目: 初め牛歩で歩き出した樹林帯は楽でしたが、登れば登るほど岩場続きで、よいこらしよどっこいしょの連発でした。「直登↑」とやらの赤字が見えてリーダーが指を指す。まさかこのまま進むとは…何も知らない私達はリーダーのキラリと光る眼鏡に従うしかなく、スパイダーマンならぬスパイダーウーマンになり岩に張り付いて登って行きました。右を見ても楽々コースを歩いているグループ多数が見えている。何で私たちのリーダーは岩場になると喜ぶの?…ひょっとして我がリーダーの前世は天狗?…頂上が見えると走ってた…やっとの思いで息を切らせついに登頂!!

頂上は結構賑わっていましたが、雲の上で見晴



らしは良くなかったけれど大満足でした。お弁当を食べて下山しましたが、これまた岩場の急降下。膝を痛めないようにゆっくりゆっくり下りて来ました。途中、初めて見る雷鳥の群れに感激。仙水峠に着いた時はあと一頑張りと思ったのですが、それからが長かった。仙水小屋までは鬼押し出しの様な岩場でした。仙水小屋でのおいしい水を飲んだ時はこんなに美味しい水は初めて、と思いました。水筒に入れて持ち帰りました。仙水小屋から駒仙小屋まで長く感じられましたがそれでも途中途中の堰でプルシャンブルーやライトグリーンに輝く神秘的な水を見たときは心癒され小屋が近い事を知らされました。小屋に戻って夕食まで歓談。7:30消灯。

3日目: 3:30出発 リーダーの足の具合がどうのこうの?昨日より少しペースが速めかな…途中緩めてゆっくりゆっくり。4合目、リーダーの足が痛そう。痛み止めのドーピング葛根湯をあげた。が効くだろうか…途中眠ってしまったらして…饜

庭さんも苦しそう…5合目に到着。残念だが下山決定…「山は逃げないから」のきよみさんの言葉に賛成。来年の楽しみができました。

下山して荷物整理し、帰りのバスを待つ間ログハウスのコーヒーの美味しかったこと。今回はどちらか一つと思っていたので甲斐駒に登頂出来た事に大満足でした。ハプニング続出でしたが愉快的な山行でした。豊島さん饜庭さん、きよみさん菅谷さん大変お世話になり有り難うございました。

4日目: 体内時計が山タイム。4時に目が覚め、はて今日は何の山へ…北岳の時はバンバンに象の足に浮腫んだのに、今回は筋肉痛もなかつつもウォーキングへ足が向きました。甲斐駒でまたまた元気をもらって冗談も言えるようになりました。リセット出来ました。

「甲斐駒バンザーイ!!」 《伊藤 典子》



登頂甲斐駒ヶ岳記

11時間の山行となった甲斐駒でした。広河原にテントを張り久々の野外宿。甲斐駒登山は前からいつか登ってみたいと思っていました。でも不安もありました。北岳山行で可能性をみたいと思っていた矢先、直前にぎっくり腰となり断念。不安は高まりました。北岳山行をしてきたきよみさんや、典子さんは確かな足取りで、日頃鍛錬している確かさを実証していました。以前の自分だったら、特に鍛錬す

ることなく10時間以上の山行にわくわくすることはあっても不安を感じずことはありませんでした。

これが最後の夏山になるかも知れない。そんな気にふつとなりました。仙丈岳登頂は私の息切れが激しかったので5合目で断念してくれたのでした。「山は逃げないから」と慰められましたが、4人に申し訳なく思いました。

《饜庭 和重》

9月の山行案内 那須朝日岳・三本槍岳

別名ニセ穂高岳の朝日岳。顔線の向こうにある槍岳。槍・穂の縦走雰囲気有り。

日時: 9月11日(日)

集合: せんげん台=5:45 春日部=6:00

持ち物: 昼食・雨具・適宜山用具・着替え(風呂は未定)

申込み: 8月25日(木)まで

伊藤松雄 TEL: 048-763-4470

携帯: 090-5410-8376

御注意: エントリー済みの方は申し込みの必要ありません。

8月21日現在エントリー21名(定員25名まで受け付けます) 8/26以降はキャンセル料が発生します。

三本槍ヶ岳(1970m)▼

